

令和4年度 第1回京都府立図書館協議会 議事要旨

1 開催日時

令和4年6月24日（金）午後2時15分から午後3時45分まで

2 場所

京都府立図書館（京都市左京区岡崎成勝寺町）

3 出席者

原田隆史委員（会長）、明致親吾委員、桂まに子委員、川口浩文委員、木下正広委員、潮江宏三委員、永田紅委員、真壁似奈委員、松下亜樹子委員、山口剛委員

4 会議の内容

- (1) 令和3年度取組に係る内部評価について
- (2) 令和4年度事業計画について

5 協議事項

- (1) 令和3年度取組に係る内部評価について

- 事務局から概要について資料に基づき説明
- 委員意見
 - ・ 計画実績の評価点数は何か基準なのかを明確にするべき。
 - ・ サービスによって施行したこと自体かその結果が重要かで区別をして、サービスの更新・改良に繋げていくべき。
 - ・ 障害者への遠隔貸出サービスとして、自宅に本を届ける、障害者施設へ集団貸出する、電子書籍を活用するなど、今後の対応を検討してほしい。
 - ・ 電子アーカイブについて、記録用か広報用か、また写真か動画か等、目的と手段を明確化し、公開に向けて進めてほしい。
 - ・ サービス計画の目標に関して、数値目標の設定が妥当かどうか、毎年の相対的な数値目標が必要かなど、検討してほしい。

- (2) 令和4年度事業計画について

- 事務局から概要について資料に基づき説明
- 委員意見
 - ・ 広範な事業計画とその数値目標について、令和7年度までの事業計画マップを作成し、視覚化することでバックキャストしていくのがよい。
 - ・ 北部でも利用できるサービスとして電子書籍に期待している。今後は府立図書館を訪問しなくても利用できるように進めていただきたい。
 - ・ K-Libnetの大学連携が増えているが、どのくらい活用されているかを把握して、より活用してもらえる取組を検討していただきたい。
 - ・ 一般的に電子書籍などによる子供の視力低下が著しいと聞いているため、府立図書館として視力回復等への啓発を積極的にしてほしい。

- 学校支援セット等、既存サービスの恒常的な改善を今後も進めてほしい。
- 事業計画ごとのメインとなるサービスを明確化し、見える形でアピールをしてほしい。また新規事業を重視して書くようにしてほしい。
- 職員の限界が来て、様々なサービスが全体的に薄くなるより、注目すべき点に労力を注ぎ、アピールできる点を強くすることを今後検討してほしい。